



倉田 博之 議員

祝!!高山線80周年

80周年記念イベント

【問】高山本線60周年はSL運行など皆でお祝い。70周年は台風で線路が寸断。廃線の危機を乗り越え再度全通した。来年の80周年は特別な意義がある感慨深い節目の年だ。

【答】喜び多い80周年。市民と祝いたい思いがある。

【問】何か記念行事は。

【答】JR東海は消極的。市は市民と一緒に祝う方向で検討したい。

【問】80周年・北陸新幹線開通・高山駅新築と相次ぐ鉄道イベントで、誘客促進や広域観光ルートのPRを。

【答】JRは増客効果を期待していないが、市にとって観光的役割は大きく、沿線自治体等

と連携しPRする。

風疹予防接種の推進

【問】助成の県発表に、当市の対応が遅い。早急に手厚い制度を。

【答】県議会や他市の情報も踏まえ、県制度を基本に現在検討している。

【問】接種の勧奨と啓発が大変重要。

【答】広報やFMなどの接種呼びかけを継続する。予防やエチケットの啓発も徹底したい。

【問】市職員への勧奨や集会の設定は。

【答】集団接種は考えない。助成決定後は、個々の利用をPRする。

自転車利用環境整備

【問】自転車通行帯を車

道に設置し、歩道の走行を禁止すべきだ。

【答】道幅が狭く車と自転車の車道共有は危険というのが、公安委員会の見解である。交通安全教室などでマナー向上などに努める。

【問】「高山市サイクリングロード」をもっと整備しPRを。位置づけを明確化しては。

【答】劣化が認められる整備を検討する。

【問】新たなサイクリング環境の充実で、市民の健康増進の利用拡大や上級愛好者の誘客を図れないか。

【答】サイクルツーリズムは大きな可能性のある旅の形である。コース構築は無理だが、既存道路を活用しての設定で各地の観光資源にも光を当てたい。関連部署と協議検討する。



「高山市サイクリングロード」案内表示版



谷澤 政司 議員

温水プール建設は頓挫、早期開設に向け次の取り組みを

寒冷地とか敷地が狭いことは当初から分かっていることだが

【問】工事が一向に進まない。現状はどうなのか。

【答】正式な中止の届出は出てないが、その方向で検討と聞いている。

【問】多くの市民から開設を望む要望がある、早期に次の取り組みを。

【答】中止となった場合、改めて施設の検討を進めて行く。

下町・伝建地区等の環境整備は進んでいるが、課題もある

【問】本年度が無電中化事業の完成年度。遅れている大新町3の側溝工事の考えと施工は。

【答】景観の研究・検討で見送ったが、秋の高

山祭以降に実施する。

【問】地区内にある消防団八幡班車庫の景観整備は。

【答】消防八幡班車庫の格子等が色あせており、景観に合うよう整備する。

【問】下三之町の側溝改修が遅れているが。

【答】祭りで降に工事着手していく。

【問】八幡町・南北線は地元団体から側溝改修の要望が出ているが。

【答】今年は大新町3を工事するので、順次整備していく。



江名子川の氾濫対策が一向に進まないが

【問】所管の県に下流域の八幡町、大新町住民の危険からの不安を取り除くため、早期に調整池など対策工事を実施する働きかけを。

【答】県から今年度、流域全体で治水安全度を高める計画案を策定し、その後工事を実施すると聞いている。

首都圏からの観光客は安房トンネルの利用が多く、地震等で長野県側が通行止めになると、高山市の経済危機が起きる

【問】この道路は当時の整備のまま、トンネルや道路の幅員が狭く危険。早期に整備推進を。

【答】松本ジャンクションから松本市波多町まで5.3kmは事業化されており、波多から安房までは狭小区間の改良が進められ、奈川度ダムから安曇までの2.2kmも新規事業化され用地買収などが実施すると聞いている。